

景観シミュレーション自己評価書

シミュレーションの距離帯		評価基準（考え方）	評価対象	基準のチェック	評価基準に対するコメント
遠景	<p>●背景との関係が読み取れる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>位置・規模を評価</p> <p>（目安 1)1,000m程度 2)最大寸法 20 倍 例) 高さ 50mの場合 距離 1,000m程度</p>	<p>●大景観と調和しているか（地域の景観の特徴との関係）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観形成基準や広域景観形成基準がある場合、景観形成の目標に適合しているか。 ・地域の景観の優れた特徴を乱していないか。 ・親しまれている眺望を妨げているか。 	① 位置	—	現況調査結果より遠景からは計画建物が見えない為、シミュレーションは不要とした。
			② 規模	—	同上
			③ スカイン	—	同上
中景	<p>●建物の周辺の状況がわかる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>主要部位を評価</p> <p>（目安 100～500m程度）</p>	<p>●中景観と調和しているか（周辺景観とのバランス）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の優れた景観特性を乱していないか。 ・過剰に目立っていたり、雑然としていたり、周辺に景観阻害感を生じていないか。 	① 基調色	○	外壁はグレー系を基調とした落ち着いた外観とし、周囲景観と違和感がない。
			② おおまかな形状	○	長方形で出来るだけ外壁に凹凸をつけず、道路と並行に計画し周辺景観との調和を図っている。
			③ 主要な付属物 （屋上設備 屋上階段 ベランダ等）	○	屋上の設備機器は、出来るだけ見えないようパラペットを上げ計画している。
			④ 特殊な材料 （金属やミラーなど）	○	特殊な材料は使用しない。
近景	<p>●隣接する建物との関係や通りの雰囲気がわかる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ディテールを評価</p> <p>（目安 50m程度）</p>	<p>●小景観と調和しているか（通りの雰囲気と建物のデザインとの関係）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通りの雰囲気を悪い方向に乱していないか。 ・商店街や住宅地といった通りの性格や将来計画に照らし合わせて適当なデザインか。 ・建物の立つ場所の特性（交差点に面するなど）に配慮しているか。 	① 壁面意匠 （ファサード意匠 側面の仕上げ 壁面設備）	○	壁面には過度の装飾を避け、シンプルになるよう努め周辺景観と違和感がない。
			③ 看板類	○	華美にならないよう努め周辺景観と違和感がない。
			④ アクセントカラー	○	華美にならないよう努め周辺景観と違和感がない。
			⑤ 低層部の雰囲気	○	グレー系にて周辺景観と違和感が無いようにした。
			⑤ 敷地利用 （緑化など）	○	道路側の緑化に努め周辺に潤いをもたらしている。
地点	<p>●周辺の公共空間（前面道路の歩道など）との関係がわかる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>道路際の造作を評価</p> <p>（目安 10m前後）</p>	<p>●前面の公共空間と調和しているか（道路際の雰囲気）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路敷が雑然としていないか。 ・地区固有の行事などに支障はないか。 ・前後の歩道の雰囲気を乱していないか。 ・その他、圧迫感や歩きにくさを感じさせるようなところがないか。 	① 低層部のディテール・意匠・材料・構造	○	アプローチに植栽を設け、落ち着いた空間としている。
			② 敷地のデザイン （敷地の舗装 緑化状況 駐車場の見えなど）	○	3面接道の特性上、塀を設置する角部では視界を遮り交通安全に支障を生じる恐れがある。このため、塀の代わりに境界明示景観及び安全性を確保する。